

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	万古溪谷沢歩きルート整備事業
事業主体 (連絡先)	千代地区まちづくり委員会 0265-59-2003
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,165,301 円 (うち支援金: 893,000 円)

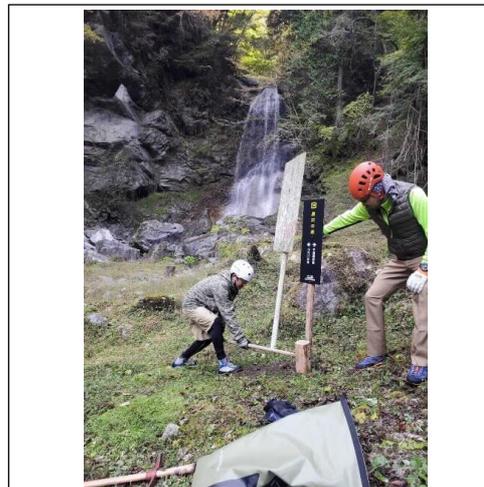
事業内容

1 ルート整備活動

- ・ 万古溪谷沢歩きルート起点の栃の木降下点と終点の唐沢の滝入口の林道脇に万古溪谷沢歩きルートの案内図標識及び資源名標識を設置。
- ・ 万古溪谷沢歩きルート上の主要箇所、道迷いしやすい箇所に現在地や次の地点までの距離等を記載した誘導標識を設置。
- ・ 住民作業のため持ち運びが容易な発電機を購入し、今回の作業に使用した。今後、毎年行う予定の足場や鎖の補修作業にも使用する。

2 万古溪谷沢歩きツアーの開催

- ・ 令和2年7月豪雨により、万古溪谷周辺への林道崩落が発生し、復旧に時間を要したことからツアーを企画することが困難となり、やむなく中止した。
- ・ 万古溪谷沢歩き案内冊子を500部作製。観光公社、天龍峡パーキングエリア、市内各公民館等にて配布した。



【ルート整備活動：誘導標識設置】

【目標・ねらい】

- ① 万古溪谷のルート整備として入渓者向けの看板等設置
- ② 入渓者に向けた万古溪谷の紹介冊子の作成、配布。
- ③ 沢歩きツアーの開催数・参加者の増加。
- ④ 地元ガイドを養成し、ガイド料収入の増加を目指した。

事業効果

- ① 支援金を活用して、案内図標識2箇所、資源名表示2箇所、誘導標識13箇所に設置した。
- ② 入渓者向けの冊子を500部作成。天龍峡PA、飯田市役所、市内の21公民館等にて配布した。
- ③ 沢歩きツアーの実施に関して、R1実績(3回42人)を上回る3回45人を目標としていたが、新型コロナウイルス感染症および7月の土砂災害の影響を受け、一般向けツアーの実施には至らなかった。
- ④ 沢歩きツアーの催行中止によりガイド料収入増加には至らなかった。

※自己評価【C】

【理由】

ルート整備活動を通し、万古溪谷の観光価値の上昇につながった。しかしながら、新型コロナ・土砂災害の影響を受けツアーが開催できず、参加者増・ガイド料収入増を断念せざるを得なかった。

今後の取り組み

- ・ 今年度を含め3箇年にわたって実施されたルート整備を経て、万古溪谷のルートは観光素材としての価値が格段と上がっている。また、その魅力を内外に発信することで、観光としての魅力発信のみならず、地元への愛着や誇りの形成につながった。
- ・ 次年度以降も、感染症対策に配慮しながら、市観光課・南信州観光公社等と連携しツアー企画するとともに、その魅力を発信し続けていきたい。
- ・ また、ルート整備保全活動を引き続きおこなっていき、地元の観光資源を、誇りをもって後世に残していきたい。